

早期解決に努力

水俣奇病で政府追及

銀杏会

県出身衆参両議員で構成する銀杏会は二十三日午後四時から参院会館食堂に、上京中の中村水俣市長、渊上同市会奇病対策委員長ら四市議を招いて水俣奇病問題の早期解決策を懇談した。まず渊上委員長が衆参両院に提出する水俣奇病に関する請願書の説明を行っ

たのち、これに対する質疑があり、ついで関係方面への陳情、手続などについて検討した。その結果、衆参両院の銀杏会員から、それぞれ連絡員を出し会をあげて早期解決に努力する一方、奇病発生の原因究明、患者および同世帯の生活保障といった具体的な結論を早く出すよう政府に迫ることを申合

せ午後五時すぎ散会した。なお二十四日午後の参院社会労働委員会、で市村中議員（社会）が問題について政府の態度を追及するが、そのあと銀杏会員および厚生、大蔵通産、農林各省、熊本県、水俣市など関係者が参院内に集って、その後の対策をねることになった。 （東京支社）